



ティラノサウルス登場！

福井駅前には恐竜増殖中

●20240207 福井駅前@変集長

☆☆活動報告☆☆

1月11日

ROBA 1 月例会・理事会

1月27～28日

全国路面電車サミット 2024 宇都宮

2月3日

全国バスマップサミット江戸川

2月6日

第4回福井市地域生活交通活性化会議

2月8日

ROBA2 月例会・理事会

☆☆事業の予告☆☆

2月24日（土）県民社会貢献活動功労者知事表彰式

3月1日（金）えちぜん鉄道活性化協議会

3月14日（木）ROBA3 月例会・理事会

3月30日（土）

ROBA 臨時総会（NPO 法人 ROBA 解散総会）

任意団体 ROBA 設立総会

・場所：福井市総合ボランティアセンター研修室（ハピリン4F）

・時間：10 時～12 時

Wacky' s ー押しCD その53

フランク・シナトラ&アントニオ・カルロス・ジョビン 「シナトラ&ジョビン」

残念ながら、長年続いた ROBA NEWS がとうとう終わるとのこと。当コーナーも今回にて終了となるので、最初に取り上げた AC ジョビンに再登場してもらい、彼と F シナトラのコラボ・アルバムを紹介して最後としたい。シナトラは、あまり売れてない頃は、ジャズ・シンガーとして扱われていたが、ヒットを連発してからは、（ポピュラー）シンガーになった。通称「ザ・ボイス」と呼ばれ、「俺の楽器は、この SM58（シュアー社のマイク）さ」などと、鯨背（いなせ）なセリフを吐いた、超大物歌手である。今回相棒のジョビンも、これまで紹介したように、ブラジルのサンバをジャズのエッセンスを振りかけてボサノバに仕立てた張本人である。その大物ジョビンでさえ、憧れていたのがシナトラであり、彼との共演が実現したのが、このアルバムなのである。シナトラの粋と不良っぽさをジョビンの上品なマイルドさで包み込む絶妙のブレンドだ。

お薦めは、やはり、世界で最もよくかかっている音楽ランキング第2位とされる「イパネマの娘」である。私もこの曲をよく演奏するが、ポルトガル語の原曲より、英語バージョンの方が好きであり、シナトラの歌で聞くと、その洒落た持ち味が倍增するようだ。長らく、本コーナーお読みいただき、ありがとうございました。でも、カーフリーデーの音楽ステージは、まだ続くようなので、そこでお会いしましょう。

令和5年度第2回越前市地域公共交通会議報告

岸本雅行

令和5年度第2回越前市地域公共交通会議が昨年末に開かれました。ROBAの理事として参加してきましたので報告させていただきます。

日 時 令和5年12月27日(水) 10:00~12:15

会 場 越前市役所 大会議室

参加委員 16名

1 新任委員紹介

2 あいさつ [奥山茂夫総合政策部部長、三寺潤会長]

3 報告事項

(1) 市民バス・デマンド交通実証実験の利用状況について [地域交通課]

① 市民バス利用者数の推移(令和5年4月~11月)について

[今年度の市民バスの利用者数を前年度同期実績と比較すると3.1%の増加の34,117人の利用となっており、利用者は路線全体で増加に転じている。ただし、令和元年度同期実績と比較すると10,733人の減少となり、コロナ禍前の水準までの回復には程遠い結果となっている。]

② デマンド交通実証実験の利用状況について(12月15日現在)

[登録者数:216人 登録者割合:65歳以上が全体の67% 利用経験者数:36人(登録者数の16%)
合計利用回数:168回]

③ 市民バス利用に対するデマンド運行実証実験の影響

[デマンド交通実証実験の対象エリアとなっている北日野地区、北新庄地区、味真野地区、粟田部地区、岡本地区を運行する市民バスルートの10月、11月の利用実績を昨年度と比較したところ、市民バス利用者数が全体的に増えている一方で、実証実験エリア内においては市民バス利用者数に減少の傾向がみられるため、市民バスからデマンド交通利用への移行が推測できる。]

④ 坂口地区における自家用有償旅客運送実証実験の利用状況

[8月2日から実証実験による自家用有償旅客運送を開始した。4か月間の1日あたりの平均利用人数は4.2人で、実証実験前の7月に運行していた「さかのくち買い物号」の1.7倍の増加となっている。「さかのくち買い物号」では行先を買い物に限っていたが、実証実験では病院や図書館、中央公園など買い物以外の場所にも利用できるようになったことが大きいと考えられる。]

4 協議事項

(1) シャトルバス運行について [地域交通課]

[北陸新幹線越前たけふ駅と既存のハピライン武生駅間を結ぶ二次交通を運行する。昼間は、大河ドラマ館（武生中央公園）まで延長。 運賃：500 円／回（未就学児無料） 運行開始日：令和 6 年 3 月 16 日 運行時間：毎日 7 時～22 時 運行本数：15 本（1 本／時間） 車両：29 人乗り小型バス 委員から「北陸新幹線えちぜん武生駅～ハピラインふくい武生駅間が 500 円とは少し高すぎるのではないかと。市民バス「のろっさ」と同じ 100 円にすべきでは。」と質問があったが、「路線バスの運賃などを考慮してこの価格にした。シャトルバスは実証運行なので、1 年ごとの認可更新の時に再考したい。」との返答であった。その後、他の委員からの質問はなく承認された。]

(2) 第一次デマンド交通実証実験の延長について [地域交通課]

[デマンド交通の周知と利用促進に時間を要することから、さらに半年間の期間延長（令和 6 年 3 月 13 日～9 月 30 日）を行うことで、デマンド交通に対する把握と市民バスとの比較を行い、デマンド交通の本格運行を目指したい。また、週 2 回の運行日を週 4 回に拡充する。委員からは多くの質問・提案があり、その後、承認された。]

(3) 路線バス「武生越前海岸線（安養寺経由）」の廃止について [福井鉄道自動車事業本部]

[武生越前海岸線（安養寺経由）＜たけふ新駅～安養寺～越前岬（平日往復 1 便）＞の利用者は 1 日 1～2 名程度であり、利用者が増える見込みもないので、令和 6 年 3 月末日をもって廃止したい。…承認]

(4) 市民バス停留所の変更について（桂町・安養寺町） [地域交通課]

[「桂町」停留所を約 30m 北側へ、「安養寺」停留所を安養寺町集落改善センター前へ移設（共に令和 6 年 4 月 1 日）したい。…承認]

5 その他

(1) 地域公共交通計画の策定について [地域交通課]

[越前市地域公共交通計画策定について、スケジュール（案）などを説明。令和 6 年度に「公共交通活性化協議会」を設置する。]

第16回全国路面電車サミット2024 宇都宮スケジュール

テーマ 「ライトラインから都市交通改革を全国へ」

宇都宮市では30年の検討の末、国内では初の完全新設のLRTが開業した。世界ではLRT新設は宇都宮市が214都市目（服部重敬氏調べ）となる。また超低床電車の普及は1997年熊本導入以来26年が経過しても、全国692輛中180輛(2023年末ラクダ調べ)にとどまり、電停のバリアフリー化も遅れている。私達はLRT開業によって劇的変化を遂げた宇都宮に集い、日本の路面電車の質的改善やLRTの新設がどうして進まなかったかを検証し、都市交通への再投資を全国に広める議論をしたい。

スケジュール

1月27日（土）19:00 全国路面電車サミット懇親会 ライオンズヘッド駅東口店 参加費 5000円

1月28日（日）9:00-14:00 全国路面電車サミット本会議、ライトキューブ宇都宮、参加費 2000円

9:00 開催挨拶

全国路面軌道連絡協議会 広島電鉄 挨拶
国土交通省都市局街路施設整備課 挨拶
来賓挨拶

9:20 講演「宇都宮ライトラインと市民運動」 奥備一彦（雷都レールとちぎ代表）

9:50 愛好支援団体の近況報告 トピックのある団体

10:20 ブレークタイム、各団体パネル展示で交流会

10:50 パネル討論「ライトラインから都市交通改革を全国へ」 どうして出来なかった日本のLRT4
司会 松原光也（RACDA 高岡、名古屋大学環境学研究科研究員）

基調報告 「LRTの日本、世界の動向」
服部重敬（一般財団法人 地域公共交通総合研究所研究員）

基調報告 「熊本から今いちど真面目に都市交通～車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍を目指して～」
太田恒平（トラフィックブレイン代表取締役社長）交通分析

基調報告 「都市交通政策の復権を求めて～活性化再生法時代をいま振り返る～
国交省はなぜここ15年間、都市交通を語れなくなったのか」
何 功（一般財団法人 計量計画研究所 / IBS 都市地域・環境部門 研究員）制度

パネラー 古池弘隆（宇都宮共和大学シティライフ学部特任教授）

講評 「富山・高岡の取組みをふまえて」
本田 豊（富山大学都市デザイン学部教授）

12:50 サミット宣言、

～14:00 ランチタイムセッション

第16回全国路面電車サミット 2024 宇都宮 サミット宣言

1993年に札幌で始まった全国路面電車サミットも、今回で16回目を迎えました。全国からの参加者の皆様に、新設のLRT「ライトライン」が走る宇都宮にお越し頂き、LRTが変えた街の様子をご覧いただくことができました。

さて、札幌での第1回開催時には、世界でLRTを新設していた都市は40か所程度でした。約30年を経て、国内で75年ぶりの軌道の新設都市となる宇都宮は、世界では214都市目の新設LRTとなります。

交通まちづくりの軸となるLRT導入が、日本においてここまで遅れたのは、大都市圏で我が国の公共交通が民営中心で成り立って来ている、世界的にも希有な事例があり、その一方で高度成長期以降、自動車工業が成長産業として国家の成長を担い、爆発的な自動車利用の拡大を招いた副作用ともいえます。

討議の中でも、LRTを整備するどころか、バスさえも減便が進み、都市公共交通の計画や投資自体が停滞していることが、指摘されています。コロナ禍でますます進みつつある公共交通のサービスレベルの低下が、さらなる地方都市の衰退を招く恐れもあります。

その一方で、新交通軸の形成に30年もの時間をかけた宇都宮の苦闘の歴史が、市民団体からも語られました。路面電車・LRTは都市計画に基づいた道路事業の一環でもあり、行政や警察、市民の広範な合意を必要としながら、「軌道に乗せる」という経験を積みました。街の姿が大きく変わり、「LRTのある宇都宮うらやましい」との報道もある今、公共交通に投資するというこれからのまちづくりの一つの方向性を示しています。LRTを含む都市公共交通への投資こそが、渋滞解消、市街地の活性化、定住促進などの都市機能の向上、ひいては国力の向上、カーボンニュートラルに繋がると、私たちは宇都宮の例から改めて実感しています。

宇都宮だけでなく、コンパクトシティ政策を進めている富山、従来の路面電車や地方鉄道を改善してLRTレベルに高めた広島や福井、熊本なども含めた各地の取り組みを、全国に伝えていくことが、日本全体にとっても有益だと、私たちは考えます。

路面電車サミットの開催を機に宇都宮に集った私たちは、人口減が進む全国の地方都市において、公共交通を活かした持続可能なまちづくりを進めるため、医療・福祉・教育・環境など様々なセクターとの関連性を踏まえ、財源・法制度の確立に向け、今後も各地で活動を続けて行きます。

2024年1月28日

全国路面電車サミット 2024 宇都宮 参加者一同

第 16 回全国路面電車サミット 2024 宇都宮参加報告

内田佳次



終点：芳賀・高根沢工業団地にて
土曜日なので、やはり試乗客が多い

令和 6 年 1 月 27 日～28 日にかけて全国路面電車サミットが宇都宮市で開催されました。

8 月 26 日に芳賀・宇都宮 LRT がスタートしたこともあり、全国にその取り組みを披露するということで宇都宮開催となりました。ROBA からは 10 名の参加です。

27 日（土）13 時ライトラインと呼ばれるルートを他の地域の愛好支援団体参加者 7～8 名とともに、清水さんの案内で試乗いたしました。ライトラインのライトは⇒雷都から名づけられました。

スタートは JR 宇都宮駅の東口にある宇都宮駅東口です。好天に恵まれたこともあり、すべてが新設の LRT であることや駅周辺の建物も新しいこともあって、まち全体が新規に造られた感がありました。

1 日乗車券を買い込んでいざ出発！
17 時頃まで沿線や停留所、P&R 駐車場、交通結節点でのバスの乗継ぎ拠点など総延長 14.6 km を視察しました。黄色のボデー色が街の風景に溶け込んで、他所のまちではありますがなんか嬉しい気持ちになりました。乗車している地元の乗客の顔は皆さん笑顔でいっぱいです。多くの市民が楽しんでいる様子がうかがえました。



清水さんの案内でライトラインを試乗中



懇親会にて：佐藤宇都宮市長（左）美濃部富山副市長（中）、中尾宇都宮ライトレール㈱常務（右）

27日 19時からサミット懇親会です。会場は「ライトキューブ宇都宮」このLRT事業の一環で中心市街地活性化のために宇都宮東駅となりにつくられた商業・文化施設です。会議室は狭いうえに大勢の愛好支援団体参加者が集ったこともあり、超満員です。ライトラインの人気を物語っていました。全国路面電車サミット宇都宮大会の古池実行委員長をはじめ佐藤宇都宮市長、高井宇都宮ライトレール㈱社長、中尾宇都宮ライトレール㈱常務、全軌協会会長（広電社長）などそうそうたるメンバーが花を添えました。



券（写真）で堪能いたしました。

28日（日）9時サミット本会議の開催です。会場は80名の予定がなんと150名参加という活況でした。テーマは「ライトラインから都市交通改革を全国へ」（内容は次ページのスケジュールを参考にしてください）基調としては、日本のLRTは海外と比較してどうしてできないのか、それを世界のLRTの動向や公共交通に関する各種データを活用して解明を試みたり、国とその政策から分析したり、富山県の交通政策と城端・氷見線再構築計画を紹介する中で新たな道筋を見出そうと議論されました。最後にサミット宣言を採択して14時30分にサミットの幕を閉じました。

私は27日、28日と二日にわたり一日乗車



作/漆寄 耕次

ぜんちゃんの、どうでもいいおはなし その22

まさかの大地震

高岡の善光です。さて出番が回って来ました。鉄道や交通に関する難しく、専門的?・・・な話題を提供します。

1月1日、まさかの大地震! レールが曲がり、液状化で凸凹になったJR氷見線・伏木地内の線路はその後、大勢の工事要員の方々であつという間に直していかれ、5日の始発から運転を再開しました。通学需要の多い氷見線は、何とか始業式前に仮復旧はさせたかったとのことです。さすがJRさん! 七尾線も懸命な復旧作業のおかげで今現在、七尾まで再開。穴水までも復旧工事が進められています。ただ以前よりも“ゆれ”がひどくなったり徐行区間もありますが「足の確保」を優先させ、とにかく仮復旧だけはさせるJRさん、ありがとうございます!

さて、今回の能登半島地震では、富山県も大きな被害を受けました。現代の富山県は大きな自然災害のないところと言われ、防災対策は“どうでもいい話”のような雰囲気もありました。そんな中、過去最大の震度5強(強震)に襲われ、初の津波被害が出たり長期断水も発生しました。結局、日本は、防災対策は“どうでもいい話”と言える地域はどこにもない・・・というのが現実のようです。地震、雷、火事、毛虫! 怖いですね!

ROBA会員の皆様へ

ROBANEWSは次号266号で私に変集長での最後の発行となります。そこでROBA活動での思い出など皆さんの投稿をお待ちしています。締め切りは3月10日(日)です。

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「全国路面電車サミット宇都宮に参加しました。宇都宮のライトラインはすべてが新しく、都市の風景もすべてが新しく見え開業日(8月26日)にまちもLRTもすべてがその日に開業したかのように輝いていました。市民の顔もみなさん笑顔で輝いているように感じました。

林(変集長)「やってきました自治会役員!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com